

＜学校教育目標＞

「夢や志を持ち、たくましく学び続ける児童の育成」

課題

- ・基礎的な学力
- ・読書不足 ⇔ 読解力不足
- ・書く力
- ・自分の言葉で説明する力
- ・話し合ったことを要約し、まとめて全体に伝える力

新学習指導要領

- ◇「何ができるようになるか」
- ◇「どのように学ぶか」

主体的・対話的で

深い学び

小野市小中一貫教育

- キャリア教育
- 授業改善・学力向上
- 情報活用能力の育成*未来への道を切りひらく力の育成

＜研究主題＞

「共に学び合い、自分の思いを豊かに表現できる児童の育成」
～確かな基礎学力を育む授業をめざして～

＜授業においてめざす子どもの姿＞

- 自ら課題意識を持ち、進んで課題に関わろうとする。
- 確実に基礎基本の力を身につけ、積み重ねていく。
- 既習事項や既有経験を活用して、自分の考えを自分の言葉で表現する。（話す・書く）
- 意見をまとめながら話し合いを進め、話し合ったことを要約して全体に伝える。
- 言葉を大切にしながら、学習したことを自己表現や生活にいかそうとする。
- 読書に親しみ、本と教材とのつながりから学びを深めようとする。



◎今年度の重点課題（具体的な取組、手立て）

☆児童が全面的に前に出る『問題解決型』の学習を重視する。

（自力解決・個別支援・小グループ解決・集団解決）

☆各教科等の指導のなかで、基礎基本の定着を図る。

① 子どもたちの効果的な関わり合い

- ・対話の仕方を共通理解し、全員で実践していく。学んだことを伝え合う場面の設定。

② 子どもたちの基礎学力を高める手立て、教師の働き

- ・朝時間の活用。 ・発問 ・板書 ・ノート、ワークシート ・フラッシュカード

③ 「書くこと」を意識した授業

- ・授業の中に「書くこと」を取り入れ、自分の考えを書いたり条件に沿って書いたりする力を育成する。

④ 「読書」の時間の確保

- ・朝時間の活用。 ・読書量を増やす取組を推進していく。
- ・家庭と連携し、自ら目標をもって取り組む家庭読書カードの活用。 ・音読